

「広い共同でこそ政治は変えられる」⑥

5/24石川康宏氏の講演より

軍事費削って暮らしにまわせ！

石川氏は次に、生活関連予算と軍事費の関係について、次のように指摘しました。

- 市民と野党の取り組みの成果として、①生活保護の生活扶助費特例加算の増額、②児童手当の拡充を通年度化、所得制限撤廃、支給期間を高校3年までに拡大、③「こども誰でも通園制度」を創設し、一定時間まで就労要件を問わず時間単位で利用できるようになった、などがあげられる。
- しかし、生活支援予算は軒並み引き下げられている。例を挙げると、①社会保障費の自然増を1,300億円削減、②高額療養費の自己負担引上げ、③最低賃金の引上げ、④教職員定数8,767人削減、⑤年金支給額1.9%引上げは実質0.8%削減、⑥介護保険利用者の2割負担拡大を模索(2026年度に予算化?)などである。
- その反面、軍事費の増加分は、文教費の2倍、中小企業対策費の5.1倍にもなっている。
- 2023年、2024年、2025年の3年間に増やされた軍事費はなんと3兆3千億円！
- この3兆3千億円があれば、次のことができる！
 - ①子ども医療費無料化(年約5000億円)
 - ②学校給食費無料化(年約4000億円)
 - ③高校授業料無償化(年1兆8千億円)等
- つまり、「軍事費削って暮らしにまわせ」の声を、今こそ大きな世論にすることが大事！

#がんばれ！ガス水道局！



渇水による飲料水の不足を打開し、断水という最悪の事態を何しても回避しようと、市ガス水道局は様々な取組を行っています。

原水確保の取組では、①沢山川からの緊急取水、②破断した水圧管路からの取水を行っているほか、8月3日現在、③消雪用井戸の活用、④綱子川から正善寺ダムへの導水などを準備しています。

このうち、上越妙高駅の消雪用井戸から城山浄水場までの3系統と、綱子川から正善寺ダムまでの配管工事が8月6日までに完了し、通水確認を行っています。

写真は上越妙高駅の消雪用井戸から城山浄水場までの3系統の配管です。これらが功を奏して、飲料水がしっかりと確保できることを祈っています。

日本共産党議員団・馬場県議 より丁寧な情報提供など求めて申し入れ

8月1日、日本共産党議員団3人はガス水道局を訪ね、この間のガス水道局の水道水確保の努力を慰労するとともに、市民へのより丁寧な情報提供を求める申し入れを、馬場秀幸県議と連名で行いました。

申し入れの各項目は以下の通りです。

- 1 市長の先月30日の記者会見での発表内容やそれ以前に発表された給水スポット設置など渇水の現況と市の取組に関する情報、および連日行っているガス水道局による取組(沢山川からの緊急取水、破断した水圧管路からの取水、消雪用井戸の活用に向けた工事等)についての情報は、いわゆるデジタルデバイド等による情報弱者に配慮し、マスコミや市ホームページを通じての提供のみに頼らず、速やかに回覧文書や防災ラジオ等でも提供すること。なお、すでに現況は重大災害の発災一瞬前であることを踏まえ、防災ラジオの活用を躊躇しないこと。
- 2 万が一断水が避けられなくなる場合の断水の形態の見通し(あらかじめ断水期間が明らかになるのか、あるいは地域ごとに一定期間の断水を繰り返すのか、または一度止まったら降

水などでダムの水量が回復するまで配水できなくなるのか)を、前項同様に情報提供すること。

- 3 断水の場合、医療機関、介護施設、福祉施設、保育園等に関する給水の手だてを明らかにすること。
- 4 同様に、高齢者のみ世帯などの要支援世帯(給水車へのアクセスや水の運搬などが困難な世帯)に対して、どのような支援を行う計画であるのかを明らかにすること。
- 5 節水対象地域の市民に向けた温浴施設の無料開放をより効果的な手だてとするため、いわゆる交通弱者向けに低額運賃による巡回バスの運行などを行うこと。

以上



日本共産党上越市議員団ニュース
 No.879 2025年8月10・17日
 連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
 ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

「しんぶん赤旗」日曜版は8/10号と8/17号が合併号です。来週は配達がありません。